

エコシティ福岡をめざして 「水と緑とまちづくり」

1 社会資本の概要

シーサイドももち海浜公園は、福岡市が管理する人工の海浜公園で、多数の市民が集う都会的で賑わいのある海辺です。

国営海の中道海浜公園は、多様なレクリエーションニーズに対応し、広域の見地から設置された大規



シーサイドももち海浜公園（砂浜と松原）

模公園です。

国道202号国体道路は、福岡市の中心である天神を貫き、交通量が多く、様々な年代の人々が各地から訪れ、行き交う重要な国道です。



国道202号国体道路

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和62年に市民参加で松原復元活動を開始し、29年が経過した現在、松原は、福岡市民の憩いの場となり、玄界灘風景街道の景勝地に位置付けられ、緑の帯を形成しました。

国営海の中道海浜公園では、子供から高齢者、留学生や大学生、企業や市民、ボランティア団体などあらゆる分野の参加者による植樹を平成元年から実施。飛砂防止の松原として成長しました。

東日本大震災で消滅した陸前高田市の高田松原復元活動を始めた「高田松原を守る会」には被災直後から募金活動と松原復元のノウハウを提供し、高田

松原津波復興記念公園再生を応援しています。

平成24年度から国道202号国体道路において、安心・安全で快適な歩行空間や、花や緑で潤いのある街並みを創造しようと花いっぱい活動を開始。大学生や小学生、沿道住民や店舗に協力を依頼し、花植えと同時に違法駐輪調査や清掃活動を実施。ゴミゼロを達成し、放置自転車も激減しました。植栽帯やプランターが四季折々の花で彩られた歩道は、来街者ばかりではなく、地域住民からも親しまれる景観となっています。



松苗の植樹（海の中道海浜公園）



国道202号のプランター（駐輪対策）



福岡県福岡市
特定非営利活動法人はかた夢松原の会 / 福岡市

3 活動の成果や波及効果等

松の植樹と保全活動では、毎年楽しみに参加される家族や市民が約400人に上り、植樹本数は50,633本に達しました。

花植え活動では、開始から3年間で実施区間、活動日数、参加者、花苗数は飛躍的に増加し、大学生や小学生、地域住民や店舗などの参加でコミュニティが形成され、デザインや花苗の選別、手入れなど専門的知識を得て参加者の意識が向上しました。



小学生との植え込み作業

4 前回受賞時からの活動の発展内容

松の植樹個所は福岡市全域に拡大し、間伐や松葉かきなど松原維持と保育に努めています。

平成23年度から子供たちを中心に博多湾環境調査プロジェクトを開始。博多湾に生息する魚類や水質調査、ワカメの育成など大学生や漁業関係者の協力により実施しています。

平成24年度から国道道路花いっぱい活動で国道202号の安全・安心な歩行空間の確保と福岡市の中心市街地の景観形成を推進しています。

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会
理事長 磯谷 慶子

コメント

私共の長年の活動を高く評価してくださり「手づくり郷土賞 大賞」を授与していただき、誠にありがとうございます。

昭和62年、白砂青松の百道松原が埋め立てられ、人工海浜になったのをきっかけに歴史と文化を次世代につなぐため「浜辺に愛を植えよう!」と松苗の植樹を29年間続け、27年度で5万本を達成しました。

現在は、“水と緑とまちづくり”をテーマに活動のフィールドも川・海・都市景観など多岐に渡っています。

今回の大賞を励みに“つながっていく、続けていく”をモットーに、次世代によりよい環境を残すため、活動を広げて参ります。

活動内容

海浜地の植樹、市街地緑化 など

活動の経緯

- 昭和62年 設立
- 昭和62年 市民参加の松原復元を開始
- 平成元年 市民による植樹を開始
- 平成12年 NPO法人認可
- 平成24年 市街地緑化活動を開始

所在地

福岡県福岡市中央区大名1-2-15 GF SQUARE 大名4 F

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人はかた夢松原の会
(092-406-2369)

対象となる社会資本

シーサイドももち海浜公園及び博多湾周辺の海浜地、
国営海の中道海浜公園、国道202号
※管理者：福岡市、国土交通省九州地方整備局



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集